

地球温暖化防止など、環境への負荷が少ない住まいづくり・住まい方が求められています。
そこで、こうした住まいづくり・住まい方を進めるため、工夫やアイデアに富んだ住宅・住まい手を募集しました。

第5回

埼玉県 環境住宅賞 作品集



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっちゃん」

主催：埼玉県住まいづくり協議会 後援：彩の国 埼玉県

総 評

温暖地である埼玉県環境共生住宅は、周辺環境との親和性の高い住宅が多く、優秀賞及び入選に選ばれる住宅の特徴の1つである。

なお、内陸部では夏の暑さが厳しいことで、その暑さをどう凌ぐかが重要なテーマとなっている。今年も優れた提案の中にそういう傾向があった。

その中で知事賞に選ばれた住宅は寒冷地の仕様に匹敵する高断熱・高気密の住宅で、今後省エネ住宅として期待されるZEHの典型的なモデルの1つになる。通気、排気、冷気の取り入れ、太陽光、太陽光の取り入れと遮断・南面居室の大きな掃出し窓と断熱内戸取付けなど様々なパッシブ技術が採用されている。他にも設備の維持管理、更新に配慮している。実際の生活の仕方との関係の追跡が望まれる。西側の立面や庇のデザインの工夫など評価された。

優秀賞の3つはいずれも住まいの南側での生活を尊重し、室内外の生活を快適にする提案であり、建築部門の2つは高い省エネ技術も備えている。

土間やデッキを広くつくる提案もこれからの住生活に様々な豊かさを実現する方法と考えられる。審査委員長特別賞の通り土間は北側入りで南の庭に解放されていることで、明るい土間となり新しい住まいの可能性を感じさせる。

住み慣れた住宅を環境共生住宅への改修の好例があった。改修の程度は改修費の掛け方とも関係する。どこをどのように改修するか賢明な判断が必要であり、今後数が増加すると予測されるので技術を磨いていく分野である。

分譲住宅計画で、夏期の体感温度を5℃も下げるモデル街区づくりに挑んだ提案があり、これからの重要な技術提案として評価した。完成後の実証検証などの調査を期待したい。

アイデア部門は住宅の一部を特定の省エネ対象要因に向けて改善しようとする要素技術であり、専門家の提案と一般生活者の提案に分かれる。専門家は現在のつくり方の部分的改良で今回は欄間の開閉による通風のアイデアが評価された。一般の生活者からの提案は環境共生に対する生活力として評価されるが、今回は該当するものがなかった。

学生部門では高校生の提案に優れたものがあった。住宅南側の間口一杯に設けた縁側(木デッキ)と室内の通風を考えた住宅案は建築部門の優秀案に共通する内容である。(三井所委員長)

第5回 埼玉県環境住宅賞の流れ

審査委員会

平成29年4月25日(募集要項の決定)

募 集

平成29年7月1日～9月30日

応募作品	60作品
・ 建築部門	39作品
・ アイディア部門	17作品
・ 学生部門	4作品

審査委員会

平成29年11月9日(作品審査)

表 彰 式

平成29年12月18日



目 次

審査委員長総評	1p
目次	1p
埼玉県知事賞	2p
優秀賞	3～5p
審査委員長特別賞	6p
協議会会長特別賞	7p
入選	8～11p
奨励賞	12～14p
応募作品	15～17p

レトロモダンな家



DK: 床、床板材、天井一部にキッチン裏面の白塗装、白漆は、反射の効

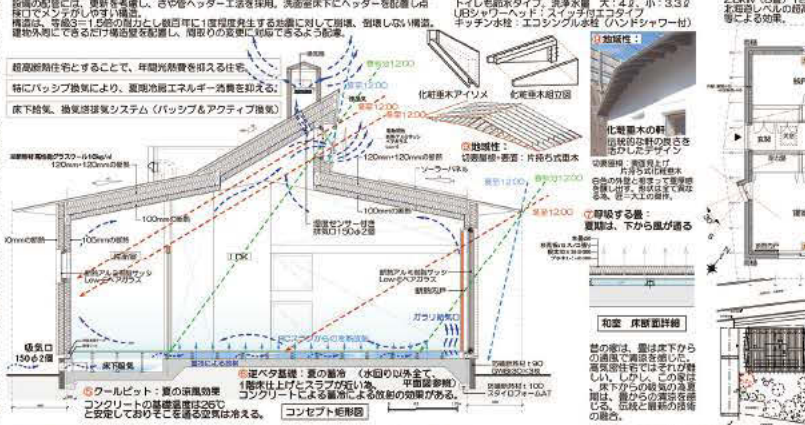
- ①北東部レベルの超断熱設計:
- ②年間光熱費: ほぼゼロ円住宅
- ③土間床: ZEH+
- ④パッシブ換気:
- ⑤クールピット: 夏の涼感効果
- ⑥定ベタ基礎: 夏の蓄熱
- ⑦屋根の断熱: 過熱
- ⑧空調エアコン1台で全室冷暖房
- ⑨地盤性: 土間コンクリート住宅の常識
- ⑩北東部レベルの超断熱設計:



HEMS: パソコンの画面で電圧は、電圧変動の様子をリアルタイムで確認



レトロモダンな家
一見、普通に見えるこの住宅は、パッシブな断熱性能を持つ省エネ住宅であり年間光熱費、ほぼゼロ円を達成している。超断熱・高気密住宅は、これまでの伝統的木造住宅とは大きく異なる。パッシブの手法を取り込みながら、高レベルで木材の質と工法を引出すよう工夫、結果的に建物の巨匠と重なる斬新（化粧塗木）が現れる。このコンセプトが独創性を引き出し、訪問者の目を惹く。



パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口



リビング: 天井・壁は、シボベニアで統一。木材の持つ温かみが室内を柔らかく包み込み、



化粧塗木の手塗: 節目内、ネオマフォーム125mm厚
パッシブ換気: 換気口
パッシブ換気: 換気口

データ

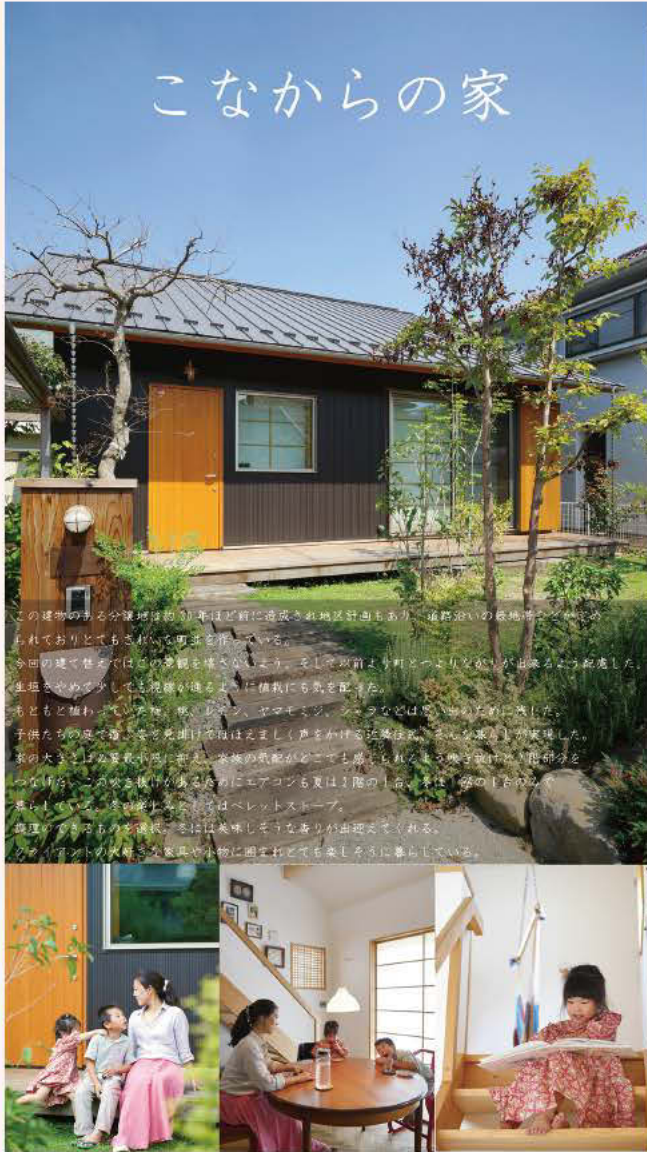
所在地...所沢市
構造・階数...木造平屋
敷地面積...311.19㎡
延床面積...86.12㎡
建築面積...86.12㎡
工期...平成25年9月
～平成26年1月
工事費...約2,000万円
居住者構成...15歳以上65歳未満 1人
65歳以上 2人
応募者...KSA一級建築士事務所
加藤裕一
設計者...KSA一級建築士事務所
加藤裕一
施工者...株式会社賀工務店

講評

UA値0.39、C値0.9という超高断熱高気密になるとともに、エコキュートや太陽光発電、節水トイレなどを用いて、ZEHを達成している。しかし、単に設備の力でZEHを達成するのではなく、地盤の温度を利用するために空気を床下に通して室内に取り入れる工夫や、最上部には排気窓を設け、冬はそこから日射を取り込むなどの建築的工夫が随所になされていることが大いに評価された。また、北側に鉄道が通る立地に対して、視線や騒音への配慮（繊維系断熱材を厚くすることは騒音対策にもなる）、屋根形状では切妻と寄棟の中間のようなデザイン的な工夫も評価された。ただ、家族構成や生活感、なぜこのような間取りになったのかが分かると更に良かったと思う。(講評者:松岡委員)

優秀賞 (建築部門)

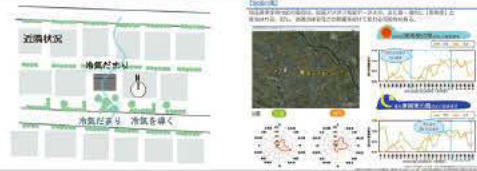
こなからの家



こなからの家

敷地を読む

建設地は埼玉県幸手市
 計画地は30年ほど前に分譲された住宅地で地区計画も整備されており
 とても綺麗な街並みを作っている。
 道路面には緑地帯が定められており、真夏日でも微風が作り出す気流があり
 木陰はとても涼しい。庭にうまく木々を植栽することで緑陰を部屋に導かれると考える。
 この地域では夏には東南風の風が多く、南東面の開口から風を取り込む計画とし、
 夜間も通風できるように通風戸を南面に設置した。
 自然の力を借りることで省エネルギーで快適に暮らせると思った。



住宅性能

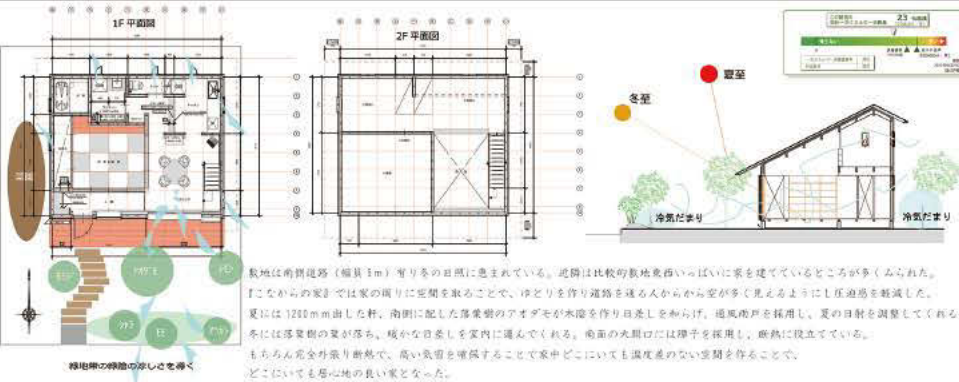
<省エネルギー性能>

UA値(もくもく)	0.57W/mK	暖房設備	ペレットストーブ/エアコン	所在地	埼玉県
C値(気密測定している場合)	0.17Cm/Cm	冷房設備	エアコン	家族構成	母/子2人
一次エネルギー消費量	735M/(m ² ・年)	給湯設備	エコキュート	建築費用	-
断熱仕様	屋根:天井 カナライトフォームEX t=50mm 外壁 カナライトフォームEX t=50mm 床-基礎 パフォームボード t=50mm 窓 LEXIL:樹脂サッシ エルースター	換気設備	第三種換気:ルーフ	構造	木造2階建
新築仕様		耐震設備		敷地面積	187.66 m ²
		耐震性能や工法などの特記事項		延床面積	80.59 m ²
		許容応力度計算による耐震等級3		竣工年月日	2017年3月

【こなからの家】では構造・断熱・気密に特に力を入れた。
 耐震では許容応力度計算を採用し、基礎・構造共に1
 耐震等級を確保。断熱は完全外張り断熱を採用し、
 気密測定を実施。0.17cm/m²と高い気密性を確保した。
 その他にも外皮計算一次エネルギー消費量の計算も実施した。
 いくらか難航は使い、寒い家を設計しても地震の不安、
 家の温度差があると結露が発生してしまう。安全を確保し、
 どこにいても快適であれば個々の心地よい場所が家じゅうに
 広がりやすくなると思える。



プランニング



敷地は南側道路(幅員3m)寄り冬の日照に恵まれている。此間は比較的敷地狭いだけに家を建てているところが多(みられた。
 【こなからの家】では家の周りに空間を取ることで、ゆとりを作り道路を走る人から高窓が多く見えるようにして圧迫感を軽減した。
 夏には1200mm出した軒、南側に配した降架梁のアーチが木陰を作り日差しを和らげ、通風効果を採用し、夏の日照を調整してくれる。
 冬には降架梁の裏が落ち、暖かな白壁を室内に導んでくれる。南面の開口には障子を採用し、断熱に役立てている。
 もちろん完全外張り断熱で、高い気密性を確保することで家中どこにいても温度差のない空間を作ることで、
 どこにいても居心地の良い家となった。

暮らしを楽しむ



家庭団円で育てた野菜が食事を作る 小部屋は秘密基地 ワイドデッキは第二のリビング 様々な生き物が訪れる

こなから建築工房

データ

- 所在地...幸手市
- 構造・階数...木造2階
- 敷地面積...187.66m²
- 延床面積...80.59m²
- 建築面積...57.62m²
- 工期...平成28年11月
~平成29年3月
- 工事費...約1,900万円
- 居住者構成...15歳未満 2名
15歳以上65歳未満 1人
- 応募者...こなから建築工房
藤岡 正洋
- 設計者...こなから建築設計室
藤岡 正洋
- 施工者...こなから建築工房
藤岡 正洋

講評

南側の道路空間に併せて南の庭を広く作り、コンパクトな住宅を北に寄せて計画した結果、陽光をいっぱい受ける庭の樹々が道を行き交う人と住まい手をやわらかくつなぐ役割を果たしている。梅桃などの花や果実、かえなどの落葉樹の新緑や紅葉、アラカシなどの常緑樹と小低木などが四季の演出し、接する人々を楽しませる。住まいの間口一杯の木のデッキの前は、芝生の明るい庭に続き、家人はアウトドアの生活を存分に楽しめる。玄関土間と8畳の和室のつながりは来客の様々なおもてなしを可能にし、その和室と居間食堂のつながりは日常の家庭生活のゆとりを生みだす素敵な住まいである。断熱や気密に対する配慮も行き届いていて環境共生住宅として高く評価できる。(講評者:三井所委員長)

熱負荷の低減とデザインを両立させた家

熱負荷の低減とデザインを両立させた家

2016年のパリ協定に基づき、ZEHが推奨されている。地球温暖化のため建物の消費エネルギーを削減することは非常に重要なことだが、そのために、解放感やデザインが犠牲にされ、コストを無視した高断熱化、数値のみを追求したZEHが氾濫している。本来、住まいとは「家族快適に過ごせ、廻りの環境にも配慮した建築物」であるべきである。この住宅は高断熱化するだけでなく、熱負荷を抑えるのではなく、プランニングや建具の期間で暖冷房負荷を削減し、且つ来客人や通り掛かりの人が振り返ってみようような美しいデザインを兼ね備えた住宅を目指した。

腰屋根

「この地域は風が強い。」プランニングの段階で風向きからこのことが読み取れた。そこで、腰屋根を利用した高窓による採光を採用した。

薪ストーブ

暖房は薪ストーブを利用している。薪の一次エネルギー消費量の削減はまだまだ残されているが、循環資源の利用として考え、環境への負荷は極めて低いと考えられる。

深い軒の出

夏の冷房負荷を削減するには、「自然を人れない」事が基本。4周すべての方向に軒を深く出し、日射遮蔽をした。軒を深く出した住宅の外観は、非常に美しい。



※夜景写真

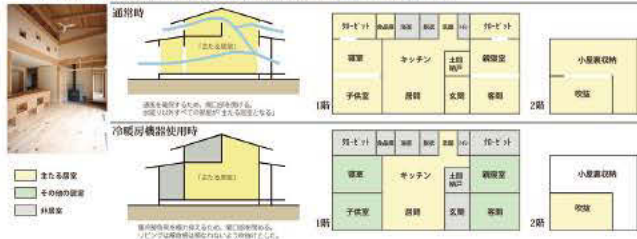
近年、最先端テクノロジーの普及で家の中心は身体性からデジタル、奥の奥が住宅の中心と見られる。今は、家という外に無い、それが良い生活感のある夜景になってきた。この住宅は障子から漏れる灯りや高窓から漏れる灯りにより、風が吹く音で癒えるような夜感を変える。

地元の木を使う

木材産地→産材所→プレカット工場→建設地の距離は55km。製材材を使い、地産地消とした。また、道し柱は、製材材として多く流通している「丈三材(10段・1段・4段)」を使い、そこから建物の高さを決めた。

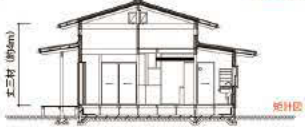


冷暖房機器の使用に合わせて、建具で居室の範囲を調整する

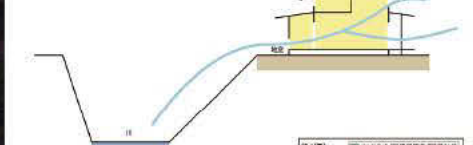


建設地：小川町
構造：木造2階建て
家族構成：父親・母親・夫・妻・子(2)
6人家族
1階床面積：99.37㎡
2階(小屋裏)面積：22.35㎡
延床面積：121.72㎡
屋根断熱：7:1/67+L1種2号90mm
壁断熱：羊毛断熱材 90mm
基礎断熱：押出法4"UPE74-L50mm
窓：78(樹脂複合サッシ(Ua2.33))

UA値：0.52
ηAC値：2.2
C値：1.5(完成時実測)



先人の工夫を学ぶ
敷地の裏手には、川が流れている。この敷地を初めて訪れたときに、真っ先に思い浮かんだのは、日本の環境共生住宅の原点と言われている「能竹屋」。設計者の藤井二郎は、近くの川の趣を「クールチューブ」と呼ばれる配置から室内に取り込んでいた。この住宅では、北側に配置したクロゼットに窓を設け、そこから川からの風を室内に取り込む工夫を試みた。



外皮を小さくする。

建物の消費エネルギーを抑える方法として、一番は高断熱化であることは間違い無い。もうひとつは外皮面積を小さくすること。同じ床面積でも建物形状によって表面積は大きく変化する。そこで建物の形状をシンプルにすることを心がけた。又、冷暖房の上たる居室の外表面積が少なくなるよう「その他(廊下)」、「井戸室」を配置した。



データ

- 所在地...小川町
- 構造・階数...木造2階
- 敷地面積...121.72㎡
- 延床面積...121.72㎡
- 建築面積...111.79㎡
- 工期...平成24年8月
~平成25年3月
- 工事費...2,500万円
- 居住者構成...15歳未満 2人
15歳以上65歳未満 2人
65歳以上 2人
- 応募者...株式会社小林建設
- 設計者...株式会社小林建設
一級建築士事務所
- 施工者...株式会社小林建設

講評

特徴としてシンプルな間取りである建物には、敷地の裏手には川が流れ、自然の風を室内に取り入れ夏は涼しく、省エネの一環で外皮面積を小さくしてある。屋根も特徴的に腰屋根としており、高窓にすることにより排熱効果が優れている。4周すべての方向に軒を深く出し日射遮蔽をし、夏の冷房負荷の削減に効果大である。意匠上、外観も素敵で建物が美しく見える。夏は涼しく快適に過ごせる。暖房は薪ストーブを利用しているが、これから冬に向かいどのような効果がみられるか大いに興味があるとともに、今後の真価がどうか大変興味深い建物でありますが、自分も住みたいくなるような素敵な建物であります。(講評:佐藤委員)

長生きする家 ～伝統技術を見直す～



長生きする家

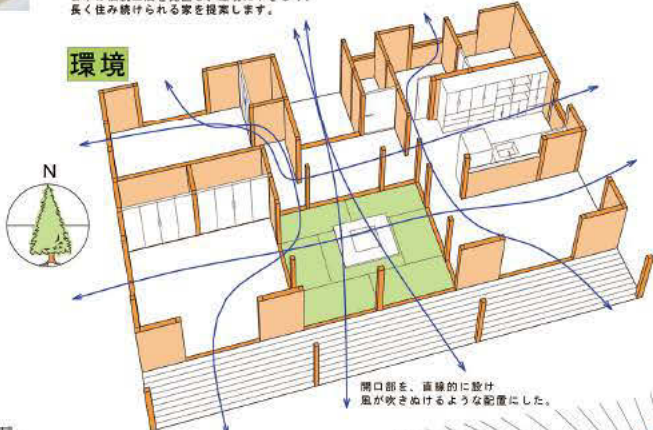
～伝統技術を見直す～

日本の住宅の工法は、大きく分けて、「木造」「鉄骨造」「鉄筋コンクリート」の3つがある。環境負荷という面を考えると「木造」が他の工法と比べ、2～2.5倍以上環境にやさしい。しかし、現在最も流通している在来工法では、寿命が約30年とされており、「木造」が環境にやさしいと言われているが、まきでいるうちに建て置きなくてはならないと考えれば、木造に環境に良いのかと迷ってしまう...そこで、今はあまり使われなくなっている日本の伝統工法を見直し、環境にやさしく、長く住み続けられる家を提案します。

伝統工法とは...

金物を使わずに木組みによって作られる工法。寺社仏閣といった建築物に用いられる。ほとんど天然素材で作られるため、住まなくなると数百年立てば、土などになり自然界に帰る。
現在、木造建築物の99%が在来工法であり、伝統工法は1%にすぎない。

環境



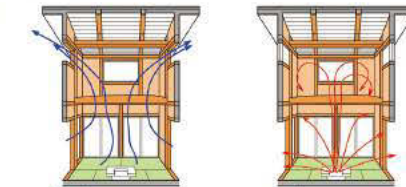
構造

土壁

土壁は、土、わら、砂、水などの天然素材で作られるため、環境にやさしく、壊れても壊れた部材を水と一緒に流せることにより再生利用できる。
また、「蓄熱性能」「調湿性能」などの性能がある。土壁は湿気を吸収するため、木材の腐食が生まれずらく、木の寿命が延びると考えられる。
そして、火災時には土壁の効果により、木が燃えるまでの時間を長くすることができるため、火災の被害が軽減するという意味で、火災に強いと言える。
今の断熱材と比べると断熱性能はよくないが、土壁が持っている高い「蓄熱性能」と「調湿性能」でカバーしてくれる。
さらに、風通しの良い壁の配置を工夫することで、夏涼しく、湿気を家の中心に配置することで、冬は家じゅうを温かくします。
こう言った工夫をする事により冷暖房費を抑えることができる。

石場立て

- 石の上に柱を乗っけるだけで、床と地面が繋がっていない構造の土台。
- 床下に空気の流れがあるため、湿気が少なくシロアリやカビなどが発生しにくい。
- メンテナンスしやすいため、長持ちする。



夏
吹き抜けの窓を開けることにより、空気の流れがつけられる。

冬
家の中心に、囲炉裏を配置した。冬は、暖房器具として火を温める。囲炉裏で火を焚くことにより、高温になった空気は天井裏に行き、木材の含水率を下げ、腐食しづらい家になる。

データ

応募者...埼玉県立春日部工業高等学校 一丸 将也

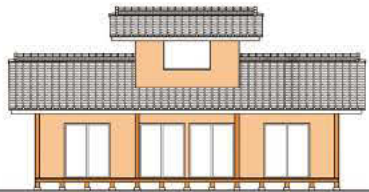
講評

長生きする家を考えるにあたり、大きく3つの工法が考えられる。その中で日本中に多くある気を使う工法を考えている。いわゆる木造工法であるが、木造は環境には優しいが一般的な金物を使った在来工法(耐震的構造)は耐用年数が他の工法に比べ短いといわれており、作者は伝統構法で環境にやさしく且つ、長く住み続けられる家を提案している。伝統構法は免震的構法であるため、基礎土台も石場立てにするなど工夫している。基礎においてもこの石場立ての計算方法が確立され、限界耐力計算や実験により安全である場合があるとなっております。

(講評:佐藤委員)



平面図 1/100



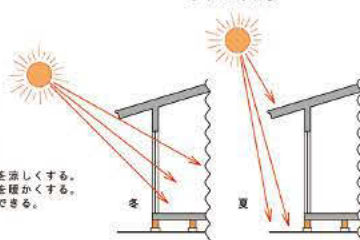
南立面図 1/100



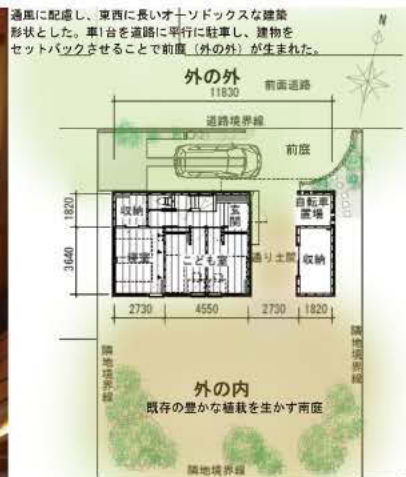
断面図 1/100

縁側

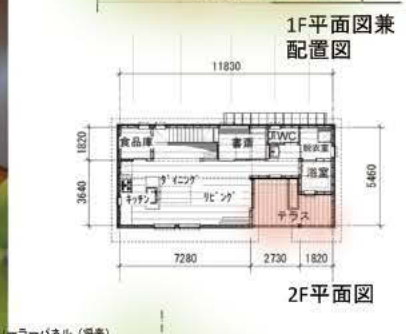
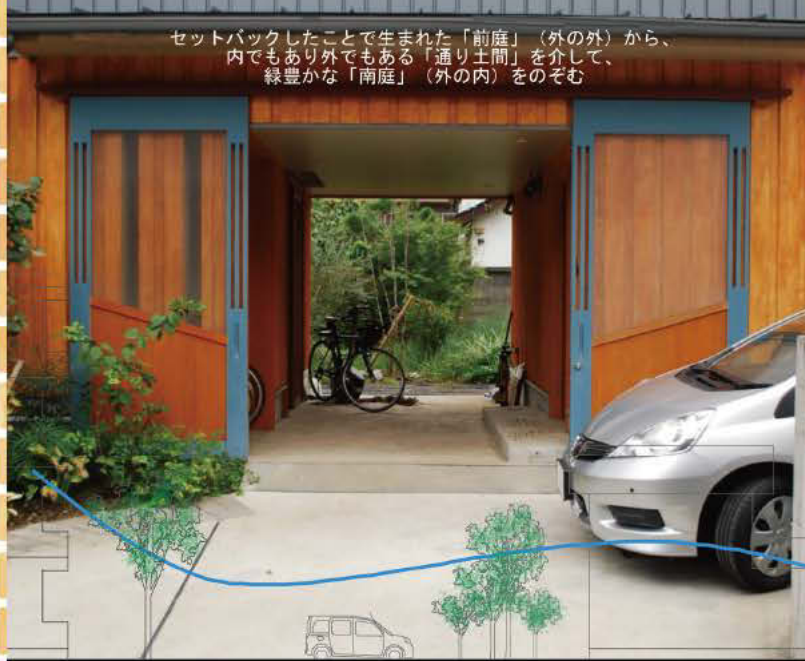
南側に縁側を設けたことにより夏は太陽が高いため、日差しを庭の中を流し、冬は太陽が低いため、日差しが入り家の中を暖かくする。この事により冷暖房費の節約を図ることができる。



通り土間をもつ家ー内と外の多様な関係ー



通り土間をもつ家ー内と外の多様な関係ー



構造・構法・規模／木造在来工法地上2階 敷地面積／272.39㎡ 建築面積／64.59㎡
延床面積／118.61㎡(1F 64.59㎡、2F 54.02㎡) 屋根／ガルバリウム鋼板 外壁／ガルバリウム鋼板、製材
外部開口／樹脂ペアサッシ 内部床／スギフローリング 内部壁／アラバスタ粘土塗 内部天井／BSパネル
90、アラバスタ粘土塗 断熱／セルローズファイバー吹込 暖冷房／エアコン



データ

所在地…さいたま市
構造・階数…木造・2階
敷地面積…272.39㎡
延床面積…118.61㎡
建築面積…64.59㎡
工期…平成26年4月
～平成26年10月
工事費…約2,600万円
居住者構成…15歳未満 2人
15歳以上65歳未満 2人
応募者…ピオ・ハウス・ジャパン一級
建築士事務所 石川 恒夫
設計者…石川 恒夫+吉垣内 英子
施工者…(株)ピオクラフト 落合 伸光

講評

かつて家の台所は居室空間から一段下がった土間の位置にあり、この土間は玄関から台所を通って勝手口に抜けられる通路でもありました。その活用は、水まわりとしての台所を居室と分けできたり、正面の玄関から入ってもそのまま台所を通り勝手口まで行けたり、また近所の来客の対応にもとても便利で、室内での外部との中間領域として多くのメリットがありました。この「通り土間をもつ家」は、その昔からの通り土間のメリットを生かしながら、これを内と外の多様な関係と位置づけ、現代としての景観と環境に充分配慮された、住まい手にとってはとても便利で気持ちの良い、また地域の方々にとっては親しみのもてる、すてきな住宅となりました。横長にのびた建物によって分けられてしまっただった道路、前庭、南庭のそれぞれの空間は、この通り土間によってつながり、そこを風が気持ちよく通り抜けてゆきます。(講評:片瀬委員)

パッシブハウス 住み継ぐ家



■ご要望
家を大事に住み継ぎたいというご希望から、建て替えては無く、リフォームを決定。冬は暖かく夏は涼しい、地震に強い、自然素材に包まれた家をご要望。

■リフォームのポイント
パッシブ設計を行い、床、壁外断部、屋根へのセルロースファイバー断熱材の施工。1FはLow-eガラスに交換し、2Fはインナーサッシを設置するなど、コストパフォーマンスも考慮しながら断熱性能を高めた。2Fの既存サッシを残しながらの改修の為、2Fはダークな色調、新規サッシの1Fは明るいホワイトのツートーンで外観のバランスを整えた。
床を暖かい質感のバイン無垢材のフローリング、壁を珪藻土で塗り、柱を見せることで、ナチュラルで木質感のある室内空間へ、ご主人の好きなモダンアートや、赤い家具が引立つ空間になった。

■お施主様のご感想
リフォーム後は、廊下に出ても寒くないと断熱の効果を実感し、もっと早くリフォームすれば良かったとご満足いただけました。

■省エネ性能

UA値(㎡h/K)	0.56w/㎡h-K	暖房設備	エアコン	
C値(気密測定している場合)	—	冷房設備	エアコン	
一次エネルギー消費量	76496MJ	給湯設備	エコジョーズ	
断熱仕様	屋根・天井	セルロースファイバー充填断熱 185mm	換気設備	3種換気
	外壁	セルロースファイバー充填断熱 105mm	新工法設備	
	床・基礎	セルロースファイバー充填断熱 90mm	耐震性能や工法などの特記事項	
	窓	樹脂窓(APW330)、1F樹脂窓アルミ合金サッシLow-eガラス、2Fインナーサッシ	評価点	1.16

データ

所在地…白岡市
 構造・階数…木造・2階
 敷地面積…122.31㎡
 延床面積…98.95㎡
 建築面積…58.71㎡
 工事費…約2,290万円
 居住者構成…15歳以上65歳未満 4人
 応募者…(株)OKUTA
 LOHAS studio デザイン
 チーム
 設計者…(株)OKUTA
 施工者…(株)OKUTA

講評

難易度の高いリフォームで高断熱化したことを評価した。外観のシルエットはあまり変更されていないが、窓面積を小さくして熱損失を抑える工夫が見て取れた。窓を小さくしても、LDKを開放的にすることで、現代的な広く明るいLDKを実現している。また高断熱にしたことで、広いLDKを一台のエアコンで賄えているとみえ、大幅な省エネになっているだろうと推測される。惜しむらくは、ピフオーアフターのエネルギー消費実績がなかったことである。リフォームの効果、削減量を訴えて欲しかった。また、パッシブ設計にしても、(例えば通風なら)工夫とその効果分かるシミュレーションなどの検討結果があると良かった。(講評:松岡委員)

入選作品

建築部門

クラノイエ

クラノイエ ～地域の文化・伝統・環境の創造と共生～

当地区は、伝統的な木造住宅が数多く存在し、その歴史を継承し、新たな価値を生み出すことが求められている。本プロジェクトは、地域の文化・伝統・環境を尊重し、持続可能な住環境を創出することを目的とする。既存の建物を解体し、新しい建物を建て替えることで、地域の景観を保全し、住居の質を向上させる。また、地域のコミュニティを活性化し、住民の生活の質を向上させることも目指している。



応募者：山岸光信建築設計事務所 代表 山岸 光信

データ

所在地…熊谷市
 敷地面積…182.80㎡
 建築面積…80.39㎡
 工事費…約2,600万円
 設計者…山岸光信建築設計事務所
 施工者…ビルドブレイン(株)

構造・階数…木造・2階
 延床面積…128.34㎡
 工期…平成27年8月～平成28年1月
 居住者構成…15歳未満 2人
 15歳以上65歳未満 2人

講評

「自然環境と周辺環境を大切に」をテーマとして、古いものを現代に生かし、地域で生産される材料を使い、夏日本一暑いと言われる熊谷での配慮から、駐車場や道路のある外部空間とこの字で囲まれた家族と来客のための内部空間としての中庭を、景観に配慮されたR形状の壁に格子状の開口をもうけて、光、日射及び風の流れを調整しています。地域に根ざした建築家として、自然と共生する空間をみごとくつくりあげました。(講評:片淵委員)

建築部門

風と緑のまち 白岡

真夏の体感温度を5℃下げるモデル街区

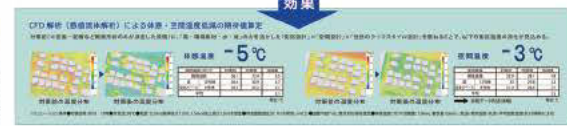
風と緑のまち 白岡
 株式会社中央住宅

クールアイランド創生型住宅街開発の普及・概要・今後の展望

街そのものがクールアイランドとなる「ハッピー型街づくり」の構成・詳細・効果

埼玉県北・アイトランド創生型住宅街開発の普及・概要・今後の展望
 →埼玉県北・アイトランド創生型住宅街開発の普及・概要・今後の展望

▶ 住居市街・人工林の緑化・周辺への環境改善を図る。【街のベース設計】×【建物の詳細設計】×【住居のライフスタイル設計】



応募者：(株)中央住宅 戸建分譲設計本部 (株)ポラス暮らし科学研究所 住環境G

データ

所在地…白岡市
 敷地面積…120.11～150.11㎡
 建築面積…50.30～60.92㎡
 総事業費…約79,510万円
 施工者…ポラテック(株)

構造・階数…木造・2階
 延床面積…95.01～111.37㎡
 工期…～平成27年1月
 設計者…(株)中央住宅
 野村壮一郎・酒井かおり

講評

大きな開発区域での多棟分譲住宅を、全てヒートアイランド創生型住宅街に企画している。「風と緑のまち」を基本理念として考えているのは素晴らしい。ヒートアイランド対策の街づくりの手法を標準化し、各種実験をおしクールアイランド創出を進めている建物である。建物の平面計画、配置計画を進めるにあたり、風の設計・環境素材の選定・水の活用 緑の醸成・建物計画を立案し、真夏の体感温度を5℃下げるモデル地区としている。(講評:佐藤委員)

入選作品

建築部門

ニャンコと暮らすヒートショックを起こさない家



ニャンコと暮らすヒートショックを起こさない家



●断熱性能
断熱性能向上を図るため、断熱4inを標準とし、断熱5inに向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の施工
この家のセカンドステージがあまりにも暑かすぎたように、住宅性能等級5 ZEH 断熱性能を確保。さらに断熱性能を向上させるため、断熱材を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の仕様
断熱材の仕様は、断熱性能を向上させるため、断熱材の仕様を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

坪数	0.58
心積	1.71
一次エネルギー消費量	92.62/9945kWh
建物断熱	EMセルローズファイバー300mm
外壁	EMセルローズファイバー100mm +EPS断熱材25mm
屋根断熱	(北工室)射出岩ガラス繊維フォーム 2層100mm厚(北工室)射出岩ガラス繊維フォーム3層125mm厚まで
暖房設備	エココン16kw
冷房設備	エココン16kw
給湯設備	電気ヒートポンプ給湯機(エコキュート)
換気設備	熱交換換気第一種換気設備
特記事項	ZEH認定、耐震等級2

応募者：(株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

データ

所在地…吉川市
敷地面積…113.99㎡
建築面積…67.07㎡
工事費…約3,300万円
設計者…(株)OKUTA

構造・階数…木造・2階
延床面積…132.48㎡
工期…平成28年7月～平成28年11月
居住者構成…65歳以上 2人
施工者…(株)OKUTA

講評

夫婦のセカンドステージの暮らしは、家で過ごす時間がとても長くなります。だからこそ、居住空間の性能向上が重要です。明るく開放的な空間や温熱環境を整備した、居心地の良い健康的な暮らしを実現する家が必要です。今回提案の断熱性能の向上に配慮し自然エネルギーを活用したZEH住宅は、エネルギーゼロつまり低炭素の暮らしを実現できる次世代型の住宅です。猫と一緒に暮らすは、心も体も温まりますね。(講評:秋元委員)

建築部門

風と太陽を五感で感じる栖



風と太陽を五感で感じる栖

「自然の力で暮らしを豊かにしたい」
前住歴が20年以上ある夫婦の唯一の注文であった。
埼玉県の東部に位置するこの地域では、
夏は真夏日が続くことに加え冬でも12月後半から
雪は数日間から長く降り続くことが多く、
断熱性能が求められる。また、
自然の力で暮らしを豊かにしたいという希望も
あった。
この地域内で自然の力を最大限に活用し、
断熱性能を向上させること。
断熱性能を向上させること。

●断熱性能
断熱性能を向上させるため、断熱材の仕様を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の仕様
断熱材の仕様は、断熱性能を向上させるため、断熱材の仕様を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の施工
この家のセカンドステージがあまりにも暑かすぎたように、住宅性能等級5 ZEH 断熱性能を確保。さらに断熱性能を向上させるため、断熱材を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の仕様
断熱材の仕様は、断熱性能を向上させるため、断熱材の仕様を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

●断熱材の施工
この家のセカンドステージがあまりにも暑かすぎたように、住宅性能等級5 ZEH 断熱性能を確保。さらに断熱性能を向上させるため、断熱材を断熱5inにアップグレードし、高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。高気密断熱構造を採用し、目隠しのない2階リビングに断熱性能の向上を図る。

坪数	0.58
心積	1.71
一次エネルギー消費量	92.62/9945kWh
建物断熱	EMセルローズファイバー300mm
外壁	EMセルローズファイバー100mm +EPS断熱材25mm
屋根断熱	(北工室)射出岩ガラス繊維フォーム 2層100mm厚(北工室)射出岩ガラス繊維フォーム3層125mm厚まで
暖房設備	エココン16kw
冷房設備	エココン16kw
給湯設備	電気ヒートポンプ給湯機(エコキュート)
換気設備	熱交換換気第一種換気設備
特記事項	ZEH認定、耐震等級2

応募者：(株)小林建設

データ

所在地…上里町
敷地面積…369.93㎡
建築面積…100.40㎡
工事費…約3,000万円
設計者…(株)小林建設一級建築士事務所

構造・階数…木造・2階
延床面積…143.25㎡
工期…平成28年12月～平成29年8月
居住者構成…15歳以上65歳未満 4人
施工者…(株)小林建設

講評

夏は暑く、冬は寒いという東北の気候に対応し、自然の力である風や光などを上手く活用した家です。夏は風の取り入れを工夫することによって冷房負荷を下げ、冬は断熱性能を高め光と熱をエネルギーに転換利用するなど、様々なエコに対応した住宅です。さらに、県産材の活用でウッドマイレージを小さくし、建て替え前の柱などの再利用でリサイクルにも配慮しています。(講評:秋元委員)

建築部門

これからの「シェア」を考える -自然と人が集まってくる場所-

これからの「シェア」を考える - 自然と人が集まってくる場所 -

■ 既存の課題
 街の中心部には、人々の集まりたい場所が少なくなりました。「働き方改革」はもちろですが、「人と人とのつながり」「地域コミュニティ」をどうつくりかかれば、これらは大きな課題とならざるを得ません。

■ この住宅のキーワード「シェア」
 「シェア」とは、ホームシェア、食卓のシェア、ワークスペースなどいろいろな意味がありますが、ここでは住まいの「シェア」を指して考えています。「シェア」を指して考えることは、共有の空間をどう創出するか、そして、それがどうなるかを考えることです。

■ 集まる場所、近さをシェアする
 建築師の役割は、自然と集まる場所を創出することです。ここでは、自然と集まる場所を創出することで、共有の空間をどう創出するか、そして、それがどうなるかを考えることです。

■ 集まる場所、近さをシェアする
 建築師の役割は、自然と集まる場所を創出することです。ここでは、自然と集まる場所を創出することで、共有の空間をどう創出するか、そして、それがどうなるかを考えることです。



応募者：大野建設(株)

データ

所在地... 深谷市
 敷地面積... 285.37㎡
 建築面積... 83.22㎡
 工事費... 約3,800万円
 設計者... 伊藤 裕子・小林 宏行
 施工者... 大野建設(株)

構造・階数... 木造・2階
 延床面積... 126.68㎡
 工期... 平成29年3月~平成29年7月
 居住者構成... 15歳未満 3人
 15歳以上65歳未満 2人

講評

これからの暮らしは、物を所有しないシェアという行動が環境に優しいと言われています。車や家、衣類などシェアは身近になりつつあります。今回特徴の縁側は、地域の人と一緒に過ごせる貴重な空間です。今や薄れつつあるコミュニティを創出し、楽しさをシェアできる贅沢な場所です。もちろん躯体は自然エネルギーの活用や高气密高断熱性能を高めた低炭素住宅を実現し、ハードとソフトからエコな暮らしを実現しています。(講評:秋元委員)

アイデア部門

エコな家づくり

〜エコな家づくり〜

光や風の流れるように心地よい家づくり。大きく出した底は、夏の日差しを遮り、冬には日をおさえ込みます。色鮮やかな植物は、夏、気候による涼しい風を運んでくれます。また、室内には涼感、断熱材などの自然素材を使っています。今の時代、環境性能に優れた（頼らない）のは無理ですが、効率よく太陽光や風を取り入れて室内空気を循環させることで建築物を活用して、快適な環境を創出。電気やガス、機械設備は補助として使わずに自然の恵みを生かす家づくりを提案します。

〜低炭素・低燃費・健康・快適〜
 『夏涼しい家』(外断熱・二重通気)
 基本の断熱は高性能です。外断熱で壁を断熱しながら、二重の通気で作る断熱・壁内には太陽熱を蓄積します。併せて、断熱性能を高めた熱気システムで室内の熱を蓄積します。エアコンに頼らなくて快適に暮らしたい。断熱性能の高さや自然素材の素材が実現できました。

『冬暖かい家』(外断熱・地熱利用)
 暖かさは地中の熱を利用することで、外断熱を断熱しなくても、わずかな断熱でも十分な暖かさを確保できます。そこに地中の熱「地熱」の暖かさを取り入れることで、小さな暖房だけで家中の温度が保ち、快適に暮らせる暖かさを創出することができました。

〜埼玉の国で建てる〜
 西川の森を再現します。お客様の家づくりで使用する樹齢80年の西川の木の数は、およそ80本です。その木の本を再現した家づくり。西川の木の森の断熱性能を再現し、断熱性能を高めた家づくり。西川の木の森を再現し、断熱性能を高めた家づくり。西川の木の森を再現し、断熱性能を高めた家づくり。



応募者：(株)高砂建設 金子 健一

データ

所在地... さいたま市
 敷地面積... 185.04㎡
 建築面積... 72.44㎡
 工事費... 約3,000万円
 設計者... (株)高砂建設
 施工者... (株)高砂建設

構造・階数... 木造・2階
 延床面積... 125.44㎡
 工期... 平成20年11月~平成21年4月
 居住者構成... 15歳以上65歳未満 4人
 65歳以上 1人

講評

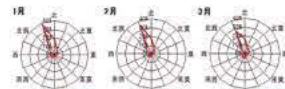
外気による影響を受けない地下地層からは、一年を通して一定の安定した熱が得られます。一定のために夏冷たく冬暖かい空気を、外壁に設けた空間を利用して建物全体に行き渡らせ、最後に屋根の開口から排出します。どこにでもある自然の熱をこの建物は上手にとり入れました。そして、外断熱工法は、これらの熱を外壁に逃がさず、また外部からの不要な熱を遮断します。建物形状では、日射方向の部分を低く抑え光りを採り入れ、間取りの工夫では、家中に風を通します。夏涼しい、冬暖かい住宅となりました。(講評:片淵委員)

入選作品

アイデア部門

～1軒1軒から生まれる地球への思いやり～

～1軒1軒から生まれる
地球への思いやり～



可動欄間付ドア



・軒を深く出す
軒を深く出すことにより、夏の高い日差し（入射角約75度）は通り室内を涼しく、冬の低い日差し（入射角約45度）は室内に入り暖かくなる。

・風配図
風配図を用い、その土地の風向きを計算し、風通しの良い窓の位置を考えることにより、エアコンを使わなくても快適に暮らせる住まいの提案が出来る。

・可動欄間付ドア
ドアの上部に可動欄間を取り付けることにより、ドアを閉めていても上から空気の循環をすることが可能であるので、プライバシーの確保と換気を同時に行なうことが出来る。

風配図を用い窓位置を決め、風の流れを掴み建物全体に空気を循環させることにより、自然の力を利用して光熱費を削減するとともに、建物を長持ちさせることが出来る。

また、暗くなってしまうがちな廊下や水周りの窓位置を考慮することにより、光熱費削減にも繋がる。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 石川 慶和

講評

風通しを考えた間取りや通風内部建具の利用が評価された。風配図を用いた通風提案もなされていたが、なぜか示されていたのが1月～3月の風配図であったこと、通風用の可動欄間付き内部建具が市販品であったことが大変残念である。ここはアイデア部門であるので、市販品を参考にしながらも、一工夫したアイデアを示して欲しかった。次回はそのような観点でのアイデアを期待したい。(講評:松岡委員)

アイデア部門

光と収納を確保できるハーフ吹抜け

光と収納を確保できるハーフ吹抜け



2階平面図



1階平面図



小屋裏収納

吹抜けをハーフにすることで、2階にスキップフロアを設けることが可能になります。収納部屋として使っていただいたり、天井高が低いので、子供の遊び場として活用できます。また、趣味の部屋など幅広く使用することができます。



ハーフ吹抜け

ハーフ吹抜けによって、採光を取り入れることができます。昼間は電気を使用せずに済む為、光熱費の節約にもつながります。また、天井高が高くなる為、開放的な空間でゆっくりと過ごすことができます。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 安田 賢輔

データ

所在地…所沢市
延床面積…231.65㎡
工事費…約6,000万円
設計者…鳥田 博幸
施工者…宮下 昭夫

構造・階数…木造・2階
工期…平成23年7月～平成23年9月
居住者構成…15歳未満 2人
15歳以上65歳未満 2人

講評

家づくりで、吹抜けリビングはとても憧れの的です。でも、大きな吹抜けだと冷暖房効果が悪いのではないかと、躊躇しまいがちです。また、収納は大きく多数欲しいところですが、限りがあります。今回は、吹抜けが半分となっているため、窓から多くの光が取り入れられ、そして収納も確保でき、一石二鳥のアイデアとなっています。またハーフ吹抜けには、様々な用途として使うことができ便利な空間となっています。(講評:秋元委員)

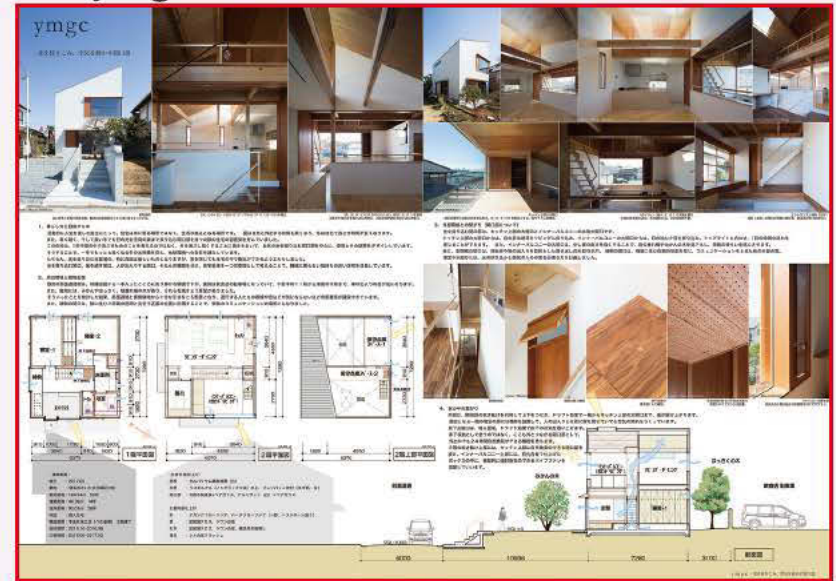
奨励賞 (建築部門)

閉じながら開くパッシブハウス



応募者：(株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

ymgc -光を採りこみ、空気を動かす開口部-



応募者：池田泰朗建築設計事務所 代表 池田 泰朗

大空間の光と風の住まい



応募者：(株)OKUTA LOHAS studio デザインチーム

家族を見守り続ける家



応募者：(株)小林建設

奨励賞 (アイデア部門)

わずかな地熱を利用した団欒形成

わずかな地熱を利用した団欒形成

床を下けた家、作りました！
どんな生活になるでしょう？！

【番外編】
もちろん冬はコタツに大変身！
床にはずのこ1枚敷いてね！

自然に集って向かい合う、家族の輪が出来て会話ははずむ

座るとお尻も背中も、ちょっと涼しいかな

少しひんやりグデー
日差しも浴びて眠くなっちゃう

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 設計チーム長 嶋崎 誠義

生ゴミを循環させるエコな暮らし

生ゴミを循環させるエコな暮らし

各家庭で出た生ゴミを堆肥化し、ベランダや庭、畑などで利用し、農地への堆肥や肥料、家畜の飼料、バイオガスとしてのエネルギー利用など、資源として再生・再利用することができます。

家庭の生ゴミを堆肥化する理由として、生ゴミに含まれるリン・窒素をそのまま農地に還すと同時に、家庭ゴミの削減することが挙げられます。

また、家庭菜園を行うことで自給自足ができ、家計にもやさしくエコな暮らしに繋がります。

再利用

・家庭で出た生ゴミ

・コンポスト
生ゴミをまきと一緒に混ぜて、発酵させる際の装置

・家庭菜園
家の裏やベランダなどで野菜を育てて自給自足の暮らし

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 志木営業所 鹿沼 尚也

部屋の中まで涼しくなる!? 屋上緑化!!

部屋の中まで涼しくなる!? 屋上緑化!!

屋上を緑化することにより様々なエコロジー効果が期待できます!

特に、太陽の光によって生じる屋上の表面温度上昇を抑える効果は絶大で、緑化していない屋上の表面温度は 60 度を超えるのに対し、緑化している屋上では 30 度前後と言われています!! また、ガルバリウム鋼板などの金属屋根に使われる材料を使用することによって、木造住宅でも取り入れることが出来ます!!

屋上緑化は狭い土地で趣味のガーデニングをすることが出来る上に、最上階の室温も下げることが出来るので、まさに一石二鳥です!!

狭小地でも付けられます!

ルーフバルコニーにアクセントで!

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西 村越 雄太



奨励賞 (学生部門)

太陽の光と共にある家

太陽の光と共にある家

最近、自分たちが過ごしやすいような空間を作るために、エアコンやヒーターなども使いエネルギーを使っている。その結果過ごしやすい環境(地球温暖化や異常気象)を作っている。その悪循環を繰り返している。そこで、私は太陽の光や植物をうまく活用し、少ないエネルギーで過ごしやすい空間に作れる家を考えて。

空気集熱式床下暖房
 空気集熱式床下暖房とは、温水や電気で温めた床を暖めるのではなく暖められた空気を床下に吹き込んで床全体を暖める暖房方式です。電気がガスなどに比べて構造が簡単で、事故や故障が少なく安い費用で広い空間を暖める事ができます。

南向きの約30°日光が入ってくるので、その日光の角度も屋根半分にルーバーを設置し、屋根をせり上げに取り込める。また、ルーバーを設置しない屋根半分に太陽光パネルを設置する。その太陽光パネルの下で空気を暖め、空気集熱式床下暖房に利用する。もちろん発電もする。そしてリビングにはシーリングファンを取り、効率よく空気を循環させる。

植物の成長に促すために成長し、季節には枯れる特徴を有する植物(カゲツキキキなど)からルーバーで取り込んだ光を反射して、これにより、夏場の日光はルーバーに植物に寄り添うことができ、冬場の日光はルーバーに寄り添うことができ、また、植物は冬場は枯れる葉が落ちるため、日光を邪魔することはない。

LDK 2.5m x 3.5m
 寝室 2.5m x 3.5m
 洗面所 1.5m x 2.0m
 トイレ 1.0m x 1.5m
 玄関 1.5m x 2.0m

平屋建 平面図 S=1/200

応募者：埼玉県立大宮工業高等学校 小嶋 優太

いつも明るい節電

いつも明るい節電

設計趣旨
 埼玉県は日本一晴れの日が多く、冬の晴天率は約80%前後ととても恵まれた気候です。この恵まれた気候を活かして、少ないエネルギーで明るく快適な空間を作りたいと考えています。また、植物の成長を促すために成長し、季節には枯れる特徴を有する植物(カゲツキキキなど)からルーバーで取り込んだ光を反射して、これにより、夏場の日光はルーバーに植物に寄り添うことができ、冬場の日光はルーバーに寄り添うことができ、また、植物は冬場は枯れる葉が落ちるため、日光を邪魔することはない。

屋根のルーバーについて
 夏：熱を待たないように水を流す。
 冬：直射光も入ったので、水は張った。明るい光を取り込む。

平面図 S=1/200
 南立面図 S=1/200
 西立面図 S=1/200

応募者：埼玉県立大宮工業高等学校 榊原 雄

暖かくミドリに包まれた住まい

暖かくミドリに包まれた住まい

埼玉県の気候の特徴として、夏は暑く、冬は寒い。日射が強い。冬は乾燥している。暑さを増強し、暑く感じる。暑い日には、多くの風を取り入れたい。夏場の風は熱気なので、夏生体を植物で覆うことで、外側と内側の温度差を利用して涼しい空間を取り入れたい。また、水を多く取り入れたい。涼しい空間を作ることで、夏場の暑さを減らすことができる。このように、暑い空間を快適にできる。また、植物は冬場は枯れる葉が落ちるため、日光を邪魔することはない。

1/100 A-A 断面図
 1/200 平面図
 1/100 B-B 断面図

応募者：埼玉県立大宮工業高等学校 福田 世蓮



応募作品 (建築部門)

佐知川の家



応募者：TAGKEN 株式会社田口建設
一級建築士事務所

Artな風の流れる家



応募者：島田義信建築設計事務所
島田 義信

狭小池のZeroEnergyHouse 北側斜線への挑戦



応募者：近藤建設(株) 前田 久徳

陽と風のデザイン住宅



応募者：(株)アキュラホーム 埼玉北支店
新熊谷営業所

3世帯で叶える SOHOの住まい



応募者：(株)OKUTA LOHAS studio
デザインチーム

近居の彩の木 FLAT HOUSE



応募者：(株)OKUTA LOHAS studio
デザインチーム

木・火・土・金・水 五行思想の家



応募者：(株)OKUTA LOHAS studio
デザインチーム

外構づくり 施主様と共同で行う



応募者：(株)アキュラホーム 埼玉北支店
新熊谷営業所

軒下のある家



応募者：(株)アキュラホーム 埼玉北支店
設計チーム 吉田 知也

風と光と暮らす家 風と光の通り道



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
所沢営業所

八潮のガレージハウス



応募者：ことごと設計室 小林 敏也

自然と共に暮らす住まい



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
所沢若狹営業所 堀内 国士

太陽が移る家 家計に負担を かけずに永く住み続けるために



応募者：(株)アキュラホーム
東松山展示場 金井 恭謙

継承



応募者：(株)高砂建設 高梨芳夫

Noki Terrace



応募者：(株)アキュラホーム 本庄営業所

ナチュラルリズム リビング&スケルトンインフィナルエ



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
新座営業所 安武 隆雄

応募作品 (建築部門)

吹き抜けを利用した
暖かな住まいづくり



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
設計チーム

太陽光発電と風の流れを
考慮したデザインエコ住宅



応募者：(株)アキュラホーム 熊谷営業所
北川 海

南を向かない家



応募者：大槻タケシ1級建築士事務所
大槻 猛

太陽光を活かした
木の豊かな住まい



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
設計チーム

太陽光で稼ぐ
自然エネルギーの収入



応募者：(株)アキュラホーム埼玉中央
上坂 真也

古により伝わる環境と
調和する住まい



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
佐藤 佑毅 橋本 七海

大収納のある家



応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
志木営業所 鹿沼 尚也

地球と共存する家
地中熱と地下水のW活用



応募者：(株)藤島建設

うらら家
環境共棲住宅
持続可能な



応募者：大野建設(株)



応募作品 (アイデア部門)

太陽・風・木を活用する家

太陽・風・木を活用する家

● 太陽 (太陽光) 夏 → 涼しい空間を実現
冬 → 暖かい空間を実現

● 風 (自然風) 夏 → 涼しい空間を実現
冬 → 暖かい空間を実現

● 木 (木材) 自然素材の活用による
健康・快適な空間を実現

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
所沢若狭営業所 森木 雪

太陽と暮らす家

太陽と暮らす家

電気代の高騰・日本のエネルギー自給率の低下・地震等震災時の停電。現在日本で生活する何となく心配なことはありませんか？そんな悩み！太陽光発電があれば心配無用！！

AC100V 最大1,500Wまでの電気製品が使えます！！

テレビ 冷蔵庫 洗濯機 電子レンジ 掃除機 加湿器 空気清浄機 電気カーペット 電気湯沸きポット 電気ケトル 電気ポット 電気圧力鍋 電気炊飯器 電気洗濯機 電気乾燥機 電気掃除機 電気扇 電気暖房 電気加湿器 電気除湿機 電気加湿器 電気除湿機 電気加湿器 電気除湿機

地震や台風などの災害により、もし長期停電になった場合でも、太陽光発電の自立運転モードで電気を供給でき、専用のコンセントに、使用したい電気製品を差し込めば、発電している分の電気を使うことができます。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
所沢若狭営業所 鈴木 明莉

クッションマットのススメ

クッションマットのススメ

クッションマットは、床を柔らかく保ち、足元を暖かく保ち、アレルギー対策にも効果的です。また、ペットの寝場所としても最適です。

● 床を柔らかく保ち、足元を暖かく保ち、アレルギー対策にも効果的です。また、ペットの寝場所としても最適です。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
杵築 麻里絵

埼玉県産材を利用した 歯科医院併用住宅

**埼玉県産材を利用した
歯科医院併用住宅**

埼玉県産材の活用による健康・快適な空間を実現

● 埼玉県産材の活用による健康・快適な空間を実現

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
佐藤 佑毅 橋本 七海

色を利用した空間づくり

色を利用した空間づくり

カーテンや家具で空間作り
家は色気。カーテンや家具で空間作り。色は空間の印象や雰囲気に大きく影響を与えます。反対に、色を効果的に活用することで、部屋を広く見せる事や、心機一新の印象を演出することも出来ます。カーテンだけでなく、家具の配色も重要視されます。

● 色は空間の印象や雰囲気に大きく影響を与えます。反対に、色を効果的に活用することで、部屋を広く見せる事や、心機一新の印象を演出することも出来ます。カーテンだけでなく、家具の配色も重要視されます。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
佐藤 佑毅 橋本 七海

ショールームの省エネ対策



応募者：(株)東京ガス 埼玉住設営業部
粕谷 明男

太陽光を利用した家づくり

太陽光を利用した家づくり

太陽光発電の導入による省エネ対策

● 太陽光発電の導入による省エネ対策

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
内田 新一

太陽と風、自然を取り込む家

太陽と風、自然を取り込む家

自然のエネルギーを上手に利用した家づくりは、健康にも優しく、人にも優しい。少しの工夫と知恵を取り込むことで、快適で住み心地の良い住まいを実現できます。

● 自然のエネルギーを上手に利用した家づくりは、健康にも優しく、人にも優しい。少しの工夫と知恵を取り込むことで、快適で住み心地の良い住まいを実現できます。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
所沢営業所

自然を大切に する快適住宅

**自然を大切に
する快適住宅**

自然を大切に
自然を大切に
自然を大切に

応募者：(株)アキュラホーム埼玉中央
中澤 佑樹

開放感ある 吹き抜け住宅

**開放感ある
吹き抜け住宅**

リビング上部を吹き抜けとウッドデッキへの掃き出し窓も大きいサイズにしてあるので、開放感ある空間です。

● リビング上部を吹き抜けとウッドデッキへの掃き出し窓も大きいサイズにしてあるので、開放感ある空間です。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉中央
七澤 和紀

壁面緑化の家

壁面緑化の家

壁面緑化は、外壁の温度上昇を抑えることで省エネ効果。また、ヒートアイランド現象の緩和にも効果がある素晴らしい手段です。

● 壁面緑化は、外壁の温度上昇を抑えることで省エネ効果。また、ヒートアイランド現象の緩和にも効果がある素晴らしい手段です。

応募者：(株)アキュラホーム埼玉西
志木営業所 鹿沼 尚也



第5回埼玉県環境住宅賞の概要

埼玉県環境住宅賞とは

地球温暖化防止など、環境への負荷が少ない住まいづくり・住まい方をすすめるため、工夫やアイデアに富んだ住宅・住まい手を募集し表彰するものです。

主 催 埼玉県住まいづくり協議会

後 援 埼玉県

部 門	建 築 部 門	アイディア部門	学 生 部 門
対象となる 住宅・ 取り組み	県内に建築された環境にやさしく、居住性に優れた住宅 新築 平成18年1月1日～平成29年6月30日までの間に確認済証を受けた住宅 リフォーム 平成29年6月30日までにリフォームした住宅	環境に配慮した住まい方のアイデアや工夫、家電などの節電方法、住宅を長く使用するために行っている取り組み	学生による環境に配慮した住宅や住まい方のアイデア

審 査 委 員 (敬称略、五十音順)

委員長	三井所 清典 ……………	公益社団法人日本建築士会連合会 会長
委員	秋元 智子 ……………	認定NPO法人環境ネットワーク埼玉 理事・事務局長
委員	片淵 重幸 ……………	一般社団法人埼玉建築設計監理協会 相談役理事
委員	佐藤 啓智 ……………	一般社団法人埼玉県建築士事務所協会 副会長
委員	松岡 大介 ……………	ものづくり大学 建設学科 准教授



協賛企業

